

# 人文学会報

88号  
2025. 3. 17

事務局

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号  
鹿児島県立短期大学 文学科 日文学料室

鹿児島県立短期大学

人文学会

電話(〇九九)三〇一―二二一

〈研究室だより〉

今号の研究室だよりは本年度末で退職される轟義昭先生へ向けた各教員からのメッセージで構成しました。

轟先生の

ご退職に寄せて



木戸 裕子

英語英文学専攻の轟先生が、本年三月末を以て定年退職なさいます。轟先生は一九八八(昭和六三)年に鹿児島県立短期大学に着任され、以来三十七年間にわたって在職されました。

私はその五年後に県短に来ましたが、轟先生は研究に授業に学内運営にと様々な新しい試みに取り組んでおられる先輩

でした。

ご専門は中世英文学で、中世ヨーロッパにおける「運命の女神」の図像研究を主要な対象にしておられます。今はインターネットの発達により、海外の画像もデータベースを利用して比較的簡単に閲覧できますが、二〇〇〇年前後はファクシミリ版を取り寄せるのも大変なご苦労だったと思います。また、それらの研究成果をカラー写真で紀要に掲載するのも県短としては確か初めてのことで、印刷会社や事務局との打ち合わせに奔走しておられました。

授業では、映画などの映像を利用した英文学というテーマで長年講義をされています。これも現在では当たり前の手法ですが、県短では轟先生が最初に取り組まれたのではないかと思います。まだ轟先生も私も若かったころ、何かの折に

「アーサー王と円卓の騎士」と日本のアニメーションの類似点について語り合った記憶があります。

轟先生は学内運営の仕事でも開拓者でいらっしやいました。入試委員長をなさっていた時に、県短も大学入試センター試験(今の共通テスト)に参加することになり、鹿児島大学と細かな打ち合わせをしなくてはなりませんでした。初めて尽くしのことを、轟先生が責任者としていろいろな決め事を作っていたかたならず、ご心労はどれほどだったかと思えます。そのおかげで今まで大きな問題なく入試を進めることができています。

近年はご体調の関係で以前のような活躍はされていませんが、文学科にとつて頼りになる存在であることには変わりありません。ご退職は寂しいですが、

これまでのご活動に感謝するとともに  
今後のご健勝をお祈りいたします。

竹本 寛秋

轟先生、ご退職おめでとうございます。

先生の文学と映画を関わらせた授業、  
一度参観に行きたいと思っていたのです  
が、最後まで叶わず残念です。授業後に  
学生が熱心に話しかける姿を見ることが  
多く、学生にとっても慕われているのだな  
あと思っていました。先生は、自分の  
発言に対しての責任を最後まで貫き通  
す方で、その姿が印象に残っています。

こられたのは、そういうところが自分に  
似ているという親近感のほか、やはり  
何事にも真摯でごまかさないう姿勢が伝  
わってくるからだろう。古い人がいなく  
なるのは本当に寂しい。頼りにしていた  
人だとなおさらだ。思いだすにつれ、  
あの長話が懐かしく思えてきた。

小亀 拓也

轟先生の、ご自身が書かれたものに最  
後まで責任を持つとする姿勢、まさに  
一点一画もゆるがせにしないそのお姿、  
強く印象に残っています（三年前の『研究  
年報』担当の際の話）。また、年齢やキャ  
リアに関係なく、どんな相手にも、それ  
こそ私のような若輩にも細やかなお心遣  
いと「真心」で接してくださったこと、  
心より有難く思います（去年の校正部会  
の時の話）。短い間ですがお世話になりま  
した。今後のご健勝をお祈り申し上げ  
ます。

長い教員生活お疲れ様でした。今後も  
健やかに過ごされることをお祈りして  
おります。

土肥 克己

轟先生の最初の印象といえば、率直  
な人だなあとということだった。しばらく  
してさらに思った、なんてわがままなん  
だ、と。でもずっと信頼して付き合っ

ご退職おめでとうございます。轟先生  
と個人的に話す機会はそんなに多くあり  
ませんが、先生の飾らない、実直なお人  
柄にはいつも尊敬の念を抱いています。  
学科会議等で、県短のことを熟知して  
いる轟先生ならではの視点からのご発言  
にハッとすることも、轟先生の県短愛を  
感じる瞬間もたびたびありました。長い  
間お疲れ様でした。これからはお好きな  
映画鑑賞でもされながら末永くお元気で  
お過ごしくださいませ。

楊 虹

石井 英里子

轟先生は帰宅前によく私の研究室に寄ってくださりました。数時間お話しされ、帰りに「先生と話ができてよかったです」と笑顔でおっしゃった後、ドアのところまで「ああ、疲れた」とつぶやいて私の研究室を後にされました。最初は、正直、少しびっくりしたりもしたのですが、いつの間にか、そんな時間が楽しいものに変わっていきました。轟先生の次のステージが、更に素晴らしいものになることを、心から祈っています。

ガルシア・アロヨ ホルヘ

轟先生、ご退職おめでとうございます。私が県短で着任した頃、轟先生は英文専攻の世話役で、県短に適応する上で

役立つ多くのことを教えてくださったので、とても感謝しています（日本の大衆化に関する話を含めて）。轟先生の授業

を拝見できませんでしたが、轟先生の

温厚な人柄と、映画を通して英文学を教

えるという画期的な手法に、学生たちが

憧れを抱いていることは知っています。

轟先生、お疲れ様でした。ありがとうございます。

ございました。

小林 朋子

四月から轟先生が隣の研究室にいらっしやらないと考えると、大樹を失うような

細かい気持ちが発生します。先生には県短

に着任して以来、諸業務や研究・教育に

ついて、様々な場面でご指導を頂き、感謝

の言葉が見つからないほどお世話になりました。人懐っこい先生を慕って、研究

室には多くの学生が遊びに来っていました。

先生のように学生に安心感を与えられる

教員になれるよう精進します。お体大切になさってお元気にお過ごしください。

遠峯 伸一郎

轟先生、長年の勤務お疲れ様でした。

私の着任した頃、先生はともにもエネルギー

ツシユで学科長など学内の要職を務めて

いらっしやいました。また、専攻内でも

重要な役割を引き受けていただき、感謝

に堪えません。最近は何年の活力が影を

潜めることが多くなったように思ってい

ましたが、卒業研究や編入の指導で先生

が学生に対して真摯に接する姿は大変

印象的でした。

米村 大輔

二年間という短い間でしたが、轟先生

にはとてもお世話になりました。県短での仕事や研究への向き合い方などたくさんのお話をいただきました。先生の丁寧にして真摯にお仕事に向き合っておられる姿勢にいつも襟を正されます。先生は映画の造詣も深く、気が付いたら一時間近く話していたこともありましたね。私も映画が大好きです。また県短にお話をしにきてくださいね。



## 〈二〇二四年度学術講演会報告〉

演題… わかりたいあなたのための  
小論文の勉強の仕方

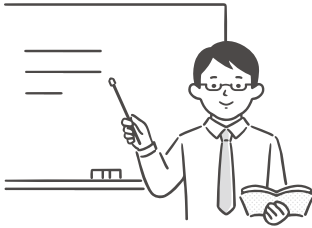
日時… 二〇二四年十二月二十五日（金）

場所… 本学十四番教室

概要… わかりやすい要約を書くためのコツ、批判的思考力を身につける勉強法についてレクチャーしました。

編入希望の学生向けの装いですが、「自分事として勉強をとらえることの大切さ」という意味ではすべての学生に伝えたい内容です。

教員含めて三十名ほどの参加者があり、みな熱心に聞き入っていました。



## 〈学外通信〉

県短生活の振り返りと  
仕事について

文学科 日本語日本文学専攻

吉満 稜馬

昨年末、小亀先生から人文学会報に原稿を寄せてほしいと連絡をいただいた。思えば県短を卒業して早一年が過ぎようとしており、人は歳を重ねるごとに一年があつという間に感じるのだなと実感した。

私が県短に入学したのは、コロナウイルスの脅威もだんだんと収まってきたころで、高校の卒業式も県短の入学式も、縮小されてはいたが開催できるまで落ち着いてきた時分だった。コロナ禍中の高校生活では、文化祭、体育祭、修学旅行の中止など、メインイベントが次々につぶれ、不完全燃焼感が拭えなかった。しかし、県短ではリモート授業もあった



ものの、学内での対面の講義、サークル活動なども解禁されていき、楽しい学生生活を送ることができた。

県短ではとても友人に恵まれた。日文専攻の友達、サークルの友達。コミュニケーションが得意な性格ではないため、友達百人とまではいかないが自分にとっては大切な仲間ができた場所だ。

中でも一部バンド部では、新入生歓迎会、学内開放だけでなく地域のお祭りや二部バンド部との合同ライブ、また、鹿児島のフェスのオーディションと、自分だけでは絶対にできなかった経験をすることができた。これはひとえに私と一緒にバンドを組んでくれたみんなのおかげであり、少人数であるからこそ盛り上がりつつ楽しかったのだと思う。

書道部での活動も実にいい経験になった。県短に入るまで書道は習ったことはなく、むしろ苦手の部類であったが、松元徳雄先生に教えていただき隷書、篆書、行草書を練習し、以前の自分では想像できないほど書道が好きになった。

松元先生も私たちが卒業すると同時に県短の書道の講師を引退されたが、今なお自分の教室で筆を執っていらつしやるようで、次は喜寿の展覧会に向けて作品を書いていらつしやることだろう。

先日、学内開放へと足を運んだ。書道部の後輩たちの作品、バンド部の後輩たちの演奏。どれも素晴らしいもので、もう戻ることができない寂しさで心がいっぱいになった。県短での生活は私の人生に彩りと豊かさを与えてくれた。一生、この思い出を胸に抱いて生きていきたい。

少しでも私の仕事について紹介させていただく。私は、ホームセンター『ハンズマン』に入社し、数ある部門の中の『植物』に配置されている。主な仕事内容としては水やり、剪定などの手入れをしている。そのほかにお客様が買いたいと思うように自分で売り場を作ったり、育て方についてアドバイスをしたりしている。しかし、最初から知識があったわけではなく、先輩やお客様から教えて

いただき、まだまだ自分でも勉強している途中だ。これから就職される方や進学される方もいると思われるが、卒業がゴールではなく、卒業してからがスタートであることを覚えていてほしい。ここからが皆さんの頑張りどころだ。

最後に、この春卒業される皆さんの今後のご活躍とご健勝をお祈りして、この拙文をしめさせていただきます。

(二〇二四年三月 日本語日本文学専攻卒業 現在、ホームセンター ハンズマン勤務)



## 感謝の尽きない時間

文学科 英語英文学専攻

安田 梨乃

私が県短を卒業してからもうすぐ四年になります。これまでもその記憶に思いを馳せることはありましたが、今回改めて県短での時間やその後の経験について振り返りました。

県短に入学した当初は自分に自信が持てず、勉強や人間関係などあらゆることに消極的でした。しかし、文化祭の劇などの学校行事を通して同級生と親睦を深め、授業で新しい知識と出会う度に、自分と周囲への認識が変化していき、積極的になっていったように思います。ゼミでは仲間にも恵まれ、小林先生のご指導のもとアメリカ文学の面白さを知ることができました。今思えば、これが私の人生における転機でした。卒業後もより深く学び、研究したいという抑えきれ

ない熱意を感じて、南山大学へ編入学しました。

編入学当初は期待にあふれ、意欲に満ちていたものの、授業が始まると、ついていくことができるかという不安が顔を出してきました。不安に拍車をかけたのは、鹿児島では考えられない愛知の春の寒さと日の入りの早さとコロナ禍によるオンライン授業です。一カ所に座ったままオンライン授業を受けて、夕方には足先が冷え、暗くなった窓の外を見ながら、なんとも言えない心細さと鹿児島への恋しさを感じていました。

しかし、翌年前期の授業を担当されたイタリア人の先生からご自身が顧問を務める有志団体に誘っていただきその活動に参加するようになってから、名古屋が私にとって第二の故郷と感じられるようになりました。団体の活動を通して、様々な社会問題を知ただけでなく、大学で勉強する意味について深く考えるようになり、本当の意味での人との関わり方や判断基準を身につけられたように

思います。そして様々な出会いや友人たちからの後押しがあり、県短の頃から抱いていた大学院進学の実現できました。進学後はアメリカ文学の研究に精を出す傍らで有志団体の活動を継続し、昨年の夏はイタリアでの国際フォーラムに参加しました。フォーラムのテーマは「時間」。様々な分野の講演の中で特に印象的だったのが「クロノス」と「カイロス」の話です。クロノスは客観的な時間を、カイロスはある出来事が起きる主観的な「時」と「チャンス」を意味します。カイロスは前髪しかない人物として描かれますが、ここからカイロスが来た時その前髪を掴まなければチャンス逃してしまふ、表現が生まれたそうです。この話を聞きながら、すべての時間のうちにカイロスは潜んでいるのかもしれないと私は考えていました。

イタリア人の先生は「神様は扉を閉めた時、窓を開ける」とよくおっしゃるのですが、自分のこれまでの道を顧みる度にそれを実感します。扉が閉ざされた時、

自分では、開いている窓があることが分らず、どの窓が開いているのか見えないことがあります。そんな時は、誰かが声をかけてくれていたはずだと思おうようにしています。その声に耳を澄まし、ご縁に感謝して先へと進みたいと願っています。県短には追加合格で入りました。そのような入り口から県短での道が始まったからこそ、愚直に歩き続けることができ、現在地につながっているのだと、今、はつきりと感じる事ができています。

(二〇二二年三月 英語英文学専攻卒業、  
現在、南山大学大学院国際地域文化研究科 国際地域文化専攻 博士前期課程在学中)



## 〈卒業にあたって〉



## 二年間を振り返って、 皆様へ

日本語日本文学専攻

田代 彩乃



自身の興味があることを学ぶことが出来ると知り、私は鹿児島県立短期大学文学科日本語日本文学専攻に入学しました。今思い返すと、もちろん期待や好奇心はありましたが、不安感の方が強かったスタートでした。ですが思っていたよりも二年間は早く過ぎていってしまいました。それはきっと毎日が楽しくて充実していたから、そう感じるのでしょう。

学生生活は最初こそ、一時間半の長い時間に難しい話がどんどん進んでいく授業やゆっくりして良いのかわからなくて

ソワソワしていた空きコマ一つですら怖かったです。それでも気がつくとな慣れてくるもので、明るく愉快的な友人たちとお菓子を食べながら色々なことをお話ししたり、真面目な授業内にほんの少しだけ存在する先生方のエピソードに笑ったり、小テストの範囲を直前で慌てて詰め込んだり、レポートやテストの準備で自分の汚い字に苦笑したりと、ずっと楽しい日々でした。二年の前期からは「この人間関係や知識を保ったまま、もう一度一年の前期にタイムスリップできないものか」とずっと考えていた程です。そうなればもっと楽しい時間が続くうえに、授業もレポートもテストも前より良い成績を残せるのではないかと、いやそれは難しいかと真剣に思っていました。浴衣デーや県大祭などのイベントの日も、何気ない日も、全部全部もう一回が欲しいです。

一方で、就職活動や卒論制作のもう一回は絶対に遠慮したいです。どちらも自身の将来のためだと、緊張状態のなか考えすぎて疲労して不安になっていまし

た。不合格通知やスランプからの胃痛の  
日々の二回目はいりません。しかし、  
この二つの難関に対して、不器用でも  
がむしゃらに真正面から向き合い、出来  
ることを尽くしたこと。そして無事に終  
わった後の達成感は貴重な経験だったと  
思っています。これから先に「もう嫌だ」  
と思うことは確実にあるでしょう。その  
時に「学生でまだ青臭かった私でもあの  
二つを乗り越えることはできたのだから、  
成長したはずの今の私はもっとできる」  
と勇気を持つことが出来ると思うのです。  
また、個人的にあまり得意ではなかった  
ことも、この二つを乗り越えるうえで克  
服しました。使える制度は遠慮なく使う  
こと、わからないことはちゃんと聞く  
こと、不満は溜め込むのではなくちゃんと  
愚痴として発散すること、一見簡単  
そうで難しいことがちゃんと出来るよう  
になりました。

さて、いよいよ卒業です。一生懸命準  
備した未来へやっとな進めると思うと同時  
に、友人たちや先生方と会うことは難し

くなりますから、やっぱ寂しいです。  
それでも、時間は進むだけなので、私も  
一緒に進もうと思います。物理的な距離  
は遠くても、地球上には全員いると思う  
ので、色々頑張って自分から会いに行こ  
うと思います。この二年間を決して無駄  
にはしません。人間関係も知識も思い出  
もずっと大切に、これからの生きていき  
たい、そう思える二年間でした。皆様、  
ありがとうございました。

中心に振り返りたいと思います。  
私は、高校生の時に約半年間アメリカ  
からの留学生のホストファミリーをした  
経験から、英語に対して興味を抱き始め  
ました。高校まで音楽科に通っていたの  
で、大学で英語を専攻することに不安と  
迷いがありました。が、オープンキャンパス  
で受けたオールイングリッシュの授業や、  
二年間で教育免許が取得できることに  
とても魅力を感じ入学を決めました。

## 県短での充実した二年間

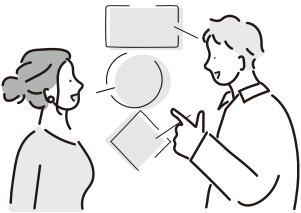
英語英文学専攻

松本 美友子

入学後は、性格も価値観も異なる友人  
に囲まれ、とても楽しい環境で学ぶこと  
ができました。私はどちらかというと  
内向的な性格なので、明るく積極的な  
同専攻の仲間からは学ぶことばかりでし  
た。

県短の二年間は、  
とても充実していて、  
あつという間に過ぎ  
たように思います。  
この二年間を、学校  
生活と編入学試験を

学外では、国際交流関係のボランティア  
や海外派遣事業に参加しました。  
短大での学びを地域社会に還元したい、  
自己成長の機会を作りたい、という思い  
から、県内各地の観光案内や二百人以上  
の外国人が集まる音楽祭などのボランテ  
ィア活動、市の海外派遣事業に参加しま



## 彙報

### ◎人文学会行事日程

二〇二四年

三月十七日

「会報」第87号発行

五月二十四日

総会・役員交代

(会長) 文学科長 竹本

(庶務) 遠峯

七月十九日

臨時総会

会費納入の方法について

十一月十五日

臨時総会

人文学会の目的・機能について

会費納入の方法について

した。参加した活動では、外国人と英語で話す機会が多くあり、授業で学んだ英語や異文化の知識を実際に活かすことができました。ボランティアで、中学生から社会人までの幅広い年齢層の人と関わる中で、自分の英語力がまだまだだと痛感することも多くありました。様々な人から刺激を受け、英語学習に対する意欲を高められた良い機会だったと思います。

次に、編入学についてです。短大生活で、進路選択は一番悩みました。留学や就職など様々な選択肢がある中で、一年生の後期には、編入学を考え始めました。先生や先輩に相談し、大学選びを始めました。最終的に、推薦制度のある南山大学の編入試験を受けることを決め、書類審査と面接に向けての対策を始めました。書類は志望理由として学校生活における積極的に取り組んだ活動を中心にまとめました。また英語の面接があるので大学の先生と何度も練習しました。途中いろいろと苦戦しましたが、先生方、学生課

の方、周りの友人のアドバイスやサポートのおかげで、最終的には編入試験に合格することができました。短大での経験や学びが、編入後の学びにどのように繋がりますか、また、将来のビジョンにどのように活かせるのか明確にすることが大切だと気づかされました。編入対策での自己分析や自分の将来について考えた時間は、編入後だけでなく社会に出てからも役立つと思います。

短大での二年間は私にとって非常に実り多いものでした。中でも編入学試験を通じて自分自身と向き合うことができ、学校生活を通じて学びと経験を積むことができました。県短での経験は、編入後の大学生活においても大いに活かしていきたいと考えています。また、この二年間で出会えた友人や先生方、応援してくれた家族に感謝し、社会に貢献できる大人になりたいと思います。



# ○鹿児島県立短期大学人文学会会則

(一九七七年六月三日制定)

(二〇二〇年四月十七日最終改正)

所属し、人文諸科学に関心をもつ教

員

2 学生会員 鹿児島県立短期大学に

所属し、人文諸科学に関心をもつ文

学科在學生

始めに開催する。ただし、必要のあ

る時は臨時的に総会を開催すること

ができる。

## 第三章 役員

第一章 総則

第一章 総則

第一条 本会は鹿児島県立短期大学人文学

会と称する。

第二条 本会の事務所を鹿児島県立短期大

学文学科日文資料室におく。

第三条 本会は人文諸科学の発展に寄与

し、会員の研究振興を図ることを目

的とする。

第四条 本会は前条の目的を達成するため

次の事業を行う。

1 研究調査・資料の収集

2 『人文学会報』の発行(年一回)

3 研究会・講演会等の開催

4 その他役員会が適当と認めた事業

第二章 会員

第五条 本会は次の会員をもって組織す

る。

1 普通会員 鹿児島県立短期大学に

所属し、人文諸科学に関心をもつ教

員

2 学生会員 鹿児島県立短期大学に

所属し、人文諸科学に関心をもつ文

学科在學生

3 特別会員 本会の発展に貢献し、

役員会において認められたもの

4 賛助会員 本会の趣旨に賛同し、

普通会員と同額以上の会費を納入す

るもの

第六条 会員として入会しようとする者

は、入会申込書を会長に提出し、役

員会の承認を得るものとする。

第七条 会員は、総会において別に定める

会費を納入しなければならない。

第八条 会員は、退会届を会長に提出し任

意に退会することができる。

2 会員が、次の各号のいずれかに該

当するときは、退会したものとみな

す。

(1) 本人が死亡したとき。

(2) 学生会員が卒業したとき。

開始に開催する。ただし、必要のあ

る時は臨時的に総会を開催すること

ができる。

## 第三章 役員

第十条 本会に次の役員をおく。役員の内

期は一年とする。

会長 一名

庶務 一名

会計監査 一名

第十一条 本会は定期的に役員会を開催す

る。ただし、必要のある時は臨時

的に役員会を開催することができる。

る。

## 第四章 会計

第十二条 本会の経費は、事業収入・寄付

金および助成金をこれにあてる。

第十三条 会費は役員会での審議を経て、

総会の決議により別に定める。

第十四条 本会の会計年度は毎年四月一日

に始まり、翌年三月三十一日に終

わる。



## 第五章 会則改正

第十五条 本会則の改正は役員会での審議を経て、総会の決議によって行う。

### 附則

1. この会則は、二〇二〇年四月十七日より実施する。

### ○会費に関する総会決議

(二〇一五年十一月二十日)

(二〇二〇年四月十七日最終改正)

本会の会費を次のとおり定める。

普通会員 一年二〇〇〇円

学生会員 二年一〇〇〇円

## 2024年度 人文学会決算報告書

収	入		
	前年度繰越金		36,668
	学生会員会費		32,000
	普通会員会費		22,000
	寄付金		1,000
	収入計		91,668
支	出		
	会報印刷費		36,300
	原稿料		4,000
	事務費		10,000
	支出計		50,300
	次年度繰越金		41,368

### 《編集後記》

人文学会報第八十八号を手にとったいただき、ありがとうございます。今年度末で轟義昭先生が定年退職されて大変さびしいところですが、四月には新たな先生をお迎えして文学科の新たな出発となればと思います。

今号から新たな試みとして卒業する二年生会員に卒業研究を通して印象に残ったことを書いてもらうこととしました。高校では探究学習が行われていますが、県短の卒業研究はよりハードルが高いと思います。二年生会員のメッセージが、来年度の二年生や一年生が卒業研究に取り組む時に何かの助けになれば幸いです。

人文学会報のバックナンバーは文学科ホームページ (<https://k-kenzan.ac.jp/jinmon/>) でも見ることができます。おひまな時間にぜひのぞいてみてください。

(遠峯 伸一郎)





## 〈令和6年度卒業研究標題〉

### 文学科日本語日本文学専攻

氏名	卒業研究標題
《土肥ゼミ …… 中国文学》	
小倉 凜	商鞅の変法と思想についての研究 『史記』をもとに、商鞅がどのように政策を行い、人々から評価されていたのか読み取りました。
川田 翔太	陶淵明作品の身辺雑記的な描写について 陶淵明作品の身辺雑記的な描写を分析。作品を二種類に分類し、その違いを理解することに力を注ぎました。
和才 絢音	『聊齋志異』における狐との異類婚姻譚について 蒲松齡『聊齋志異』における狐との婚姻譚に着目した論。異類と人間との関係性と物語とのつながりを考察。
《楊ゼミ …… 日本語学・日本語教育学》	
植田 真央	視聴者の心を掴むテレビCMの特徴 —導入部分の表現形式に着目して— テレビCMの導入部分の表現形式の特徴を分析。「導入部分」の明確な定義を見つけることに尽力しました。
大野 聖人	野球実況における語りの視点選択について 野球実況における語りについて、視点選択の観点から考察。試合展開との関連付けに注力しました。
川原 光希	TVの会話に見られるディスコース・マーカー —性差の観点から— 会話におけるディスコース・マーカーを分析しました。男女の使用の違いを理解することに力を注ぎました。
隈元 諒太	LINE上で使用されるスタンプの使用傾向について —男女差の観点から— LINEスタンプの使用の男女差について分析。先行研究をもとにして本研究に活用しました。
小永吉 佑理賀	若者言葉に見られる現代の変化と中性化 アンケートをとった人数が多く集計が大変で、思ったより結果が出ず考察に苦勞した。
松元 綾美	絵本に登場するオノマトペの特徴 子どもの成長とオノマトペがどのように関係しているかについて知ることができました。
《小亀ゼミ …… 日本語学》	
大迫 凜太郎	ルー語が持つ面白さの要因について 再現可能性を証明するために、自作ルー語を用いた評価実験を行い実証しました。
永田 萌々果	会話の中で人が「圧」を感じる仕組みはどうなっているのか 会話の中で人が「圧」を感じる仕組みを明らかにしました。
別府 奏音	日本人名112年分の日本語学的分析 大正元年から令和5年までの112年分、計2,240個の日本人名を音象徴の面から研究しました。
増井 真琳	「ス」の印象と使用場面についての研究 日常会話に見られる「～っす」に関する、アンケート調査協力者数約200名の大規模調査。
蓑田 匠	反復文使用による「あきれ」について 「あきれ」が発生する要因について考えることに力を注ぎました。

## 〈令和6年度卒業研究標題〉

### 文学科日本語日本文学専攻

氏名	卒業研究標題
《竹本ゼミ …… 日本文学・近代》	
河野美月	国語科教科書と夏目漱石 一高等学校国語科『こころ』の教材価値— 夏目漱石『こころ』の教材価値について考察しました。「明治の精神」を理解しよう とがんばりました。
吉元彩乃	三島由紀夫「翼」論 「翼」における描写および時代背景について考察。三島と戦後の関わりを意識して取り 組みました。
坂ノ上萌花	姫野カオルコの『整形美女』から見るルッキズム批判 物語構造から姫野カオルコのルッキズム批判を分析。現実のルッキズム問題と絡めて 考えました。
田尻奏楽	『カラフル』における「生き方」の描かれ方 森絵都『カラフル』の物語構造を分析。「語り」の仕組みの理解と、作品の描かれ方の 分析に力を入れました。
町田知佳	内田英治『マッチング』から見る小説・映画の差異 映画と小説でセリフや、起こった出来事の順番などの違いを見つけるのに多く時間を 費やした。
中瀬菜子	『ヘヴン』は果たして強者の側に立つメッセージを送っているのか？ — 一川上未映子『ヘヴン』における作品解釈について— 作品内でのテーマとニーチェ哲学との関連を調査、作品の隠れた解釈を引き出すことを 目指しました。
入佐あゆみ	『桐島、部活やめるってよ』の「語り」における読者への効果について 読者への効果をよりわかりやすく伝えるために、他の書き方と比較しているところが ポイントです。
《木戸ゼミ …… 日本文学・古典》	
田代彩乃	『古事記』『日本書紀』におけるツクヨミノミコトの存在意義 ツクヨミノミコトの存在意義について、アマテラスとスサノヲとの比較から自分なりに 論じられました。
角野冴奈	『落窪物語』における「憂し」と「つらし」の使われ方とその意味 さまざまな訳があったため「憂し」を分類することが大変でした。
徳永美都	『落窪物語』の現実性からみられる物語展開について —あこぎの役割を中心に— 超自然的な能力を使わない物語展開を考察。パロディー説についてもっと比較して みたいと思いました。
中村優希	『とりかへばや物語』の女主人公の性自認についての研究 女主人公の性自認について分析。物語の流れに沿って、女主人公の感情を読み取る ことに尽力しました。
上ノ堀杏孔	『狭衣物語』における偽装妊娠がその後に及ぼす影響について 物語展開がどう変化するのか、それぞれの人の背景について理解してから考察する ことに力を注ぎました。

## 〈令和6年度卒業研究標題〉

### 文学科英語英文学専攻

氏名

卒業研究標題

#### 《轟ゼミ …… 文学・アダプテーション理論の実践》

- 小園 友三奈 映画『カラオケ行こ!』の原作コミックと映画の比較研究  
この研究をする中で、物事について観察する力を身につけられたと思います。
- 野村 希咲 『すずめの戸締まり』の比較研究 —映画と小説—  
論文作成は時間のかかる難しい作業だったが、短大生活の節目としてこのような経験ができてよかった。
- 四本 あみ 映画『四月になれば彼女は』の研究  
—映画と小説および映画とミュージックビデオの比較—  
作品における原作者と監督のメッセージを読み解くことができ自分の納得いく卒業論文ができた。
- 脇屋 いずみ 小説『ある男』とアダプテーション映画の比較研究  
小説とそのアダプテーション映画を通して作品のテーマや主人公の心情について考えることができました。

#### 《ガルシアゼミ …… 英語圏文化》

- 西村 綾紗 Background of Hawaii  
長い文章を書いてしっかりまとめることが出来るのか不安だったが、書くうちに題材に関しても更に深く理解する事ができ、良い経験になりました。
- 小田原 花奈 Changes in American Fashion From Prewar to Postwar Periods as Seen in The Film *The Notebook*  
私はテーマとなる映画や当時のアメリカンファッション、政治などをインターネットで調べて比較しました。
- 小永田 花凜 The History and Characteristics of Rock Music in the United States  
自分の書きたいことや伝えたいこと、研究の目的を明確にするために工夫を重ねました。
- 中村 琴美 Why is *Titanic* Beloved by People For a Long Time?  
私はアメリカの価値観を深く知れました。日本にないアメリカならではの考え方や行動の仕方に強く胸を打たれました。
- 野元 大地 How has American Casual Style Become One of the Symbols of The Culture of The US?  
私はアメカジと人の生き方の繋がりをLevi'sの歴史を通し調査しました。文章の言い回しが難しかったが無事終えることができました。
- 松木 美友子 The 1920s in America as Seen Through *The Great Gatsby*  
大変だと思いましたが、自分の興味のあることを研究でき、とても充実した時間でした。
- 吉富 俐里 A Comparison Between Jazz And Blues  
私は今回、ジャズとブルースを比較しジャズの特徴を研究するに伴い両者の違いが明白に分かり、興味深い成果となったと思います。

## 〈令和6年度卒業研究標題〉

文学科英語英文学専攻

氏名

卒業研究標題

### 《小林ゼミ …… 比較文学・比較文化》

- 火野坂 ほのか 働き方の未来図 ―日本とアメリカの社会システムから学ぶ最適な働き方―  
日本とアメリカの労働を比較し、現代の課題を考察しました。理想的な働き方へのヒントを探る内容に仕上げました。
- エンズ 史絵奈 マザー・テレサから学ぶ日本の女性のエンパワーメントとリーダーシップについて  
マザー・テレサの理念が、現代女性のエンパワーメントにどのように活かせるかを探求しました。「他者愛」について理解を深めることができました。
- 松 元 美 海 現代における「母性」と文学的視点  
現代における母性の概念をトニ・モリスンの『ピラヴド』、内田英治脚本の『ミッドナイトスワン』から比較し考察しました。新たな母性への観点とジェンダー社会への関心を得ることができました。
- 三 原 そ ら 日米比較から考える母親の歴史 ―『母性』と『ピラヴド』―  
日米比較という方法で母性について論じました。それぞれの女性作家が描く母親像から、社会問題も浮き彫りになりました。
- 八 木 遥 斗 『メタルギアソリッドV』と『1984』に見る権力と言語  
ジョージ・オーウェルの『1984』とビデオゲーム『メタルギアソリッドV』を比較して、近・現代哲学の観点から言論統制や権力について論じました。

### 《遠峯ゼミ …… 英語学・日英対照研究》

- 上 原 千 穂 星新一の『ある研究』の日英比較とその作風  
卒業研究の執筆では、先行研究や考察に用いる資料を集める作業や、伝えたいことを言語化する事が大変でした。
- 門 倉 典 愛 『ハイキュー！！』に見る英語と日本語の違い  
時間がない中での、卒業研究の作成で大変な部分もありましたが、ゼミ生、先生方に協力してもらいながらなんとか完成させることが出来て良かったです。今後の課題も見つかったので、頑張っていきたいです。
- 美 坂 春 樹 プロスポーツのテレビ実況中継における日英語比較  
―陸上競技とテニスに焦点を当てて―  
初めての卒業論文で、普段使わない文語的な言葉に苦労しましたが最後まで書き上げることができて良かったです。

## 〈令和6年度卒業研究標題〉

文学科英語英文学専攻

氏名

卒業研究標題

《石井ゼミ …… 英語教育・異文化コミュニケーション研究》

- |        |  |
|--------|--|
| 有村 咲   | Exploring Corrective Feedback Practices in English Classes<br>The results showed a clear difference in corrective feedback between native English speakers and Japanese English teachers. I hope this finding will be useful for English education in the future.  |
| 上音 羽   | The Impact of Cross-Cultural Experiences on English Learning Attitudes<br>The survey showed that students with cross-cultural experiences were more likely to speak English, emphasizing the need for cross-cultural understanding in Japanese English classes.  |
| 上栗 麻愛  | The Effect of Text Color on English Word Retention<br>While red ink is commonly used for word memorization, this study found that blue ink positively affected memory retention of English words.  |
| 富村 奈々  | How Story Context Affects Ballet Movement Understanding<br>Ballet pantomimes are a means of telling stories, but they are difficult to understand, and this study found that giving a language schema improved understanding.  |
| 中大路 京香 | How Personality Affects English Learners' Attitudes Toward Presentations<br>Using BIG5-BASIC and peer assessment, my research showed that extroverted students were good at and enjoy English presentations, while introverted students were poor at and dislike them.   |
| 村田 凪   | How Former Teachers Shape the Ideal English Teacher<br>This study examined how former teachers influenced their students' ideal English teachers, focusing on personality traits, teaching styles, and responses to students.  |
| 吉谷 すみれ | The Role of Early English Education in Formation of Child Identity<br>This study showed that early English education helped identity formation. Learning English helped children understand different cultures and values, enhancing self-awareness and relationships. It also enhanced communication skills, confidence, and self-expression. |

